

T A C 行政書士講座 無料オンラインセミナー

初めての人が
春から**合格**するための

学習スケジュール

2023.4.22

講師 小池昌三

セミナーの内容

TAC行政書士講座 小池 昌三 講師

- 1 行政書士試験の概要
- 2 春から合格するためのタイムスケジュール
- 3 TAC受講のススメ
- 4 質疑応答(皆様の疑問点解消)

1 行政書士試験の 概要

1 行政書士試験について

1. 行政書士試験

実施日	11月の第2日曜日 ※令和5年度は11月12日（日）予定 13：00～16：00
受験資格	特になし
願書提出	7月下旬～8月下旬
試験内容	法令科目（46問）と一般知識科目（14問）
試験形式	1. 5肢択一式（1問4点）法令40問、一般知識14問 5個の選択肢から1つを選んでマークする形式 2. 多肢選択式（1問8点）法令3問 空欄ア～エに20個の選択肢から1つずつ選んで 4か所にマークする形式 3. 記述式（1問20点）法令3問 問題文の質問に対する解答を40字程度で記述する 形式
合格基準	300点満点中180点以上（絶対評価式）

2. 出題内容と合格基準

		配点	5肢択一式	多肢選択式	記述式
法令	基礎法学	8点	2問	—	—
	憲法	28点	5問	1問	—
	行政法	112点	19問	2問	1問
	民法	76点	9問	—	2問
	商法	20点	5問	—	—
一般知識	政治経済社会	32点	8問	—	—
	情報通信・個人情報保護	12点	3問	—	—
	文章理解	12点	3問	—	—

※令和4年度試験の出題内訳

合格基準の特徴

①絶対評価

300点満点中180点以上を取ることが合格基準

②一般知識科目にノルマあり

一般知識科目の得点は14問56点中6問24点以上であることが必要

択一問題が大部分を占める

⇒ 択一問題演習中心

5肢択一式 54問

多肢選択式 3問

記述式 3問

2 春から合格するための タイムスケジュール



- (1) 学習時間を確保
- (2) 学習範囲を確定
- (3) 問題演習量を確保
- (4) タイムスケジュール

合格に
必要な
ものは

一発合格ポイント①

「時間を無駄にしない
スケジュール管理」

→時間は有限。

⇒余暇の時間を学習時間に振り替える（学習時間を確保）

一発合格ポイント②

「条文・判例の 基本知識の獲得」

→ 出題可能性の低いところは捨てる。難しいところを追わない。
⇒ 「6割で合格」を忘れない。

一発合格ポイント③

「問題演習中心の 学習スタイル獲得」

- テキスト読みは楽だけど、知識の精度は上がらない。
- ⇒問題演習中心の学習にする。

5 肢択一式（54問－ 1 問 4 点）

• ex. 次のうち正しいものはどれか。

- 1 ～
- 2 ～
- 3 ～
- 4 ～
- 5 ～

多肢選択式（3問－1問8点）

ex. ア～エに当てはまる語句を、枠内の選択肢（1～20）から選びなさい。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～
～～～～～～～～～～～～。

1	2	～	20
---	---	---	----

- ex. ～について、40字程度で記述しなさい。

[illegible]

一発合格ポイント④

「タイムスケジュール の作成」

→時間を無駄なく使う
⇒学習効率を高める

戦略的タイムマネジメント

（１）残り時間を算出してください。

- 1週間で勉強に割くことができる時間は？
- 残り_____週 × 週_____時間
= 本試験までに残された時間

戦略的タイムマネジメント

4月23日（日）～	残り29週
5月7日（日）～	残り27週
6月4日（日）～	残り23週
7月2日（日）～	残り19週
8月6日（日）～	残り14週
9月3日（日）～	残り10週
10月1日（日）～	残り6週
11月12日（日）	行政書士本試験

① 法令科目（出題数 46 題 - 244 点 /300 点）
 [法令科目の出題形式・配点・得点割合・残り時間]
 （ 時間 ） × 81.3% = 法令の残り時間（ 時間 ）

科目	択一	多肢	記述	配点	得点割合	残り時間
×基礎法学	2			8点	2.7%	
○憲法	5	1		28点	9.3%	
◎行政法	19	2	1	112点	37.3%	
◎民法	9		2	76点	25.3%	
△商法	5			20点	6.7%	

① 一般知識等（出題数 14 題 - 56 点 /300 点）
 〔一般知識等の出題形式・配点・得点割合・残り時間〕
 （時間）× 18.6% = 一般知識の残り時間（時間）

科目	択一	多肢	記述	配点	得点割合	残り時間
×社会系	7			28点	9.3%	
○情報系	4			16点	5.3%	
◎文章理解	3			12点	4.0%	

短期集中スケジュールモデル

4月～GW	⇒	民法（100％）
5月～6月	⇒	行政法（70％）＋民法（30％）
7月	⇒	行政法（50％）＋民法（50％）
8月～9月	⇒	行政法（30％）＋民法（30％） ＋商法（10％）＋憲法基礎法学（20％） ＋オプション講座等
10月	⇒	模試・答練・オプション講座等
11月	⇒	直前対策・模試答練 総復習 全科目

3 TACの受講のススメ



「ベ－シツク本科生」 (全70回) の活用法

- (1) 講義受講 (これだけでインプット完結)
- (2) ミニテストで確認 (アウトプット 1)
- (3) 科目別答練で確認 (アウトプット 2)
- (4) 択一・記述のテクニックマスター
- (5) 講師がフォロー (学習バックアップ)
- (6) 直前期の答練 (アウトプット 3)

1 学習時間

重要ポイント

インプット時間の圧縮

2 学習範囲の確定

重要ポイント

アウトプット内容の厳選

3 問題演習

重要ポイント

問題演習への強制力

TAC受講のメリット+α

- (1) 学習ニーズに合わせた
受講コース選択
- (2) 受講メディアの豊富さ
- (3) 面倒見のいい講師陣

今は始めるなら「ベーシック本科生」がオススメ！



『春の早割キャンペーン第1弾』4/30(日)まで！

「ベーシック本科生」(全70回)が通常受講料より22,000円off!

★詳細はTACホームページへ！